

活動支援（ホップ）部門採択事業報告



事業名	のびのび親子ふれあい体操
実施団体名	特定非営利活動法人子育てネットワークあすなろ
事業の目的	情報化社会の現在、携帯モバイルが発達し子どもから高齢者まで日常的に使用しています。便利な反面、人とのコミュニケーションが希薄になり、乳幼児を持つ親世代も、相談ができず育児の仕方がわからない、育児によるストレスなどを抱え深刻化しています。親子体操は親子で一緒に体を動かし、子どもの運動能力を引き出しながら、親世代の体力づくりを行います。この活動を通して、親子でふれあえるコミュニケーションの機会を作ります。また児童館、子育て支援センターを回り指導者の育成を図ります。
補助金額	17,000 円
事業の概略	＜対象＞乳幼児親子 ＜内容＞立位、座位、ストレッチ、柔軟運動を取り入れ、子どもと一緒にを行う動きを主にしたプログラムを実施した。マット、ボール、風船、ロープ等道具の特色を活かして、体の動きの幅を広げて内容を充実させた。また、子どもの月齢に合わせて各々のプログラムを組み立てた。 ＜スケジュール＞ 平成27年4月実施計画立案。5月児童館、子育て支援センターと調整、開催スケジュール決定。6月沖村児童館にてデモ実施、内容を確認。9月ポスター、チラシを作成。10月北、東、南子育て支援センター、久地野、六ツ師児童館にて実施。11月宇福寺、鹿田、九之坪、沖村児童館。12月西子育て支援センター、井瀬木、熊之庄児童館にて実施。 平成28年1月鍛冶ヶ色児童館にて乳児親子対象に実施。2月鍛冶ヶ色児童館にて2，3歳児親子対象に実施。健康ドームにて開催。3月アンケート調査確認、まとめ。
事業の成果	親子のコミュニケーションの機会を作ることができた。 乳幼児の運動能力を引き出す内容を指導することができた。 親世代の育児指導と体力作りを行うことができた。 平日と日曜日に開催することで、母子、父子、就労している方等が参加できるように対応した。
実施での問題点	補助金事業が終了した後も事業を継続していくために、行政の委託事業として活動を広めたり、参加費を有料化する等資金を確保しなければならない。

活動支援（ホップ）部門採択事業報告

課題・今後の展望	参加費を有料化するため、内容をスキルアップさせる。 企業とタイアップする等。
審査員評価	巡回して開催し、指導者の育成を目指したことや開催曜日を工夫して多様な参加者のニーズに応えたこと、家庭でも応用できる内容を取り入れたこと、少ない予算で最大限の努力をしていることは良いと思います。
アドバイス・期待する点	各地で指導者が育ち、継続展開していくことを期待します。戸外での活動もよいかなと思いました。お父さん、お母さん方の力を借りて繋がりから、主体的参加者を増やすことを期待します。 地域の子育てサロンとの連携や活動のPRを工夫し、広報や新聞の記事掲載等があると広く認知される。協力金のかたちで参加費をとることも検討してはどうでしょうか。